



(株)SDSホールディングス2024年3月期第二四半期決算資料  
東証スタンダード コード1711

2023年11月

# SDSホールディングス 2024年3月期経営方針と活動

資源の集中と選択を行い、中期的な方向性を確立する

前期

省エネソリューション/サステナビリティ

省エネ設備・工事受託

省エネ商材物販

太陽光発電（自家消費）

施設ソリューション/デベロップメント

BCP（非常用電源）

施設強化

食品衛生/セイフティ&ヘルス

バイオマスごみ処理

HACCP関連

リノベーション

今期

省エネソリューション

省エネ設備・工事受託

施設強化

再生可能エネルギー

太陽光発電（自家消費）

太陽光発電（PPA/セカンダリー）

食品衛生

HACCP関連

リノベーション

## 2024年3月期第二四半期までの主な活動

4月 HACCP事業における秋田銀行との業務提携

5月 リサイクル・リユースパネルを活用した太陽光発電事業に関するF社・AMG社との業務提携

6月 太陽光発電事業でF社との合併会社、「SDSおひさま1号」設立

6月 太陽光発電事業におけるデューデリジェンス事業でBMトラダ社と業務提携

6月 渡辺代表取締役社長・本清副社長（省電舎社長）就任

8月 食品工場におけるHACCP適合設計による工事完了

9月 中期経営計画を発表

## 2024年3月期第二四半期連結業績について

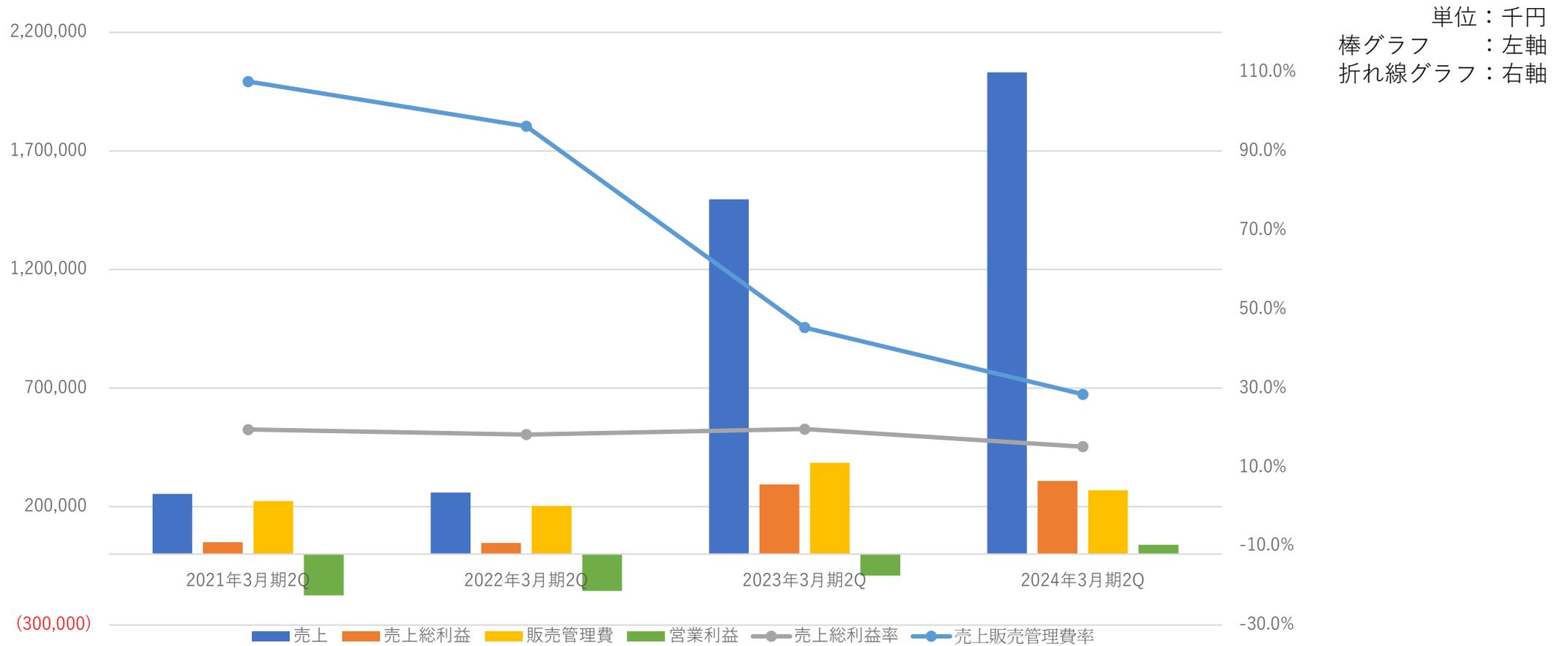
# SDSホールディングス 2024年3月期連結第二四半期業績サマリー

大幅増収と販管費削減により、営業利益・経常利益が黒字化

単位：千円

	2023年3月期2Q	2023年3月	進捗率	2024年3月期2Q	前年同期比	2024年3月予想	進捗率
売上	1,496,325	3,402,015	44.0%	2,031,484	35.8%	3,450,000	58.9%
売上総利益	293,495	632,470	46.4%	308,414	5.1%	690,000	44.7%
売上総利益率	19.6%	18.6%		15.2%	-4.4%	20%	
販売管理費	384,572	787,658	48.8%	268,980	-30.1%	680,000	39.6%
営業利益	-91,076	-155,187		39,434	黒字化	10,000	394.3%
経常利益	-119,969	-210,858		1,788	黒字化	-60,000	
親会社に帰属する当期純利益	-131,014	-296,355		-3,021		-120,000	
総資産		4,456,248		4,111,443	-7.7% (前期比)		
自己資本		521,260		518,031	-0.6% (前期比)		
自己資本比率		11.7%		12.6%	0.9% (前期比)		

## 2023年3月期は、業容拡大に伴い、半期黒字化を実現



## 第二四半期会社別利益構成

単位：千円

### SDSホールディングス

販売管理費 101,867

#### イエローキャピタル

科目	今期2Q
売上	1,558,455
営業利益	72,859
経常利益	36,205

#### 省電舎

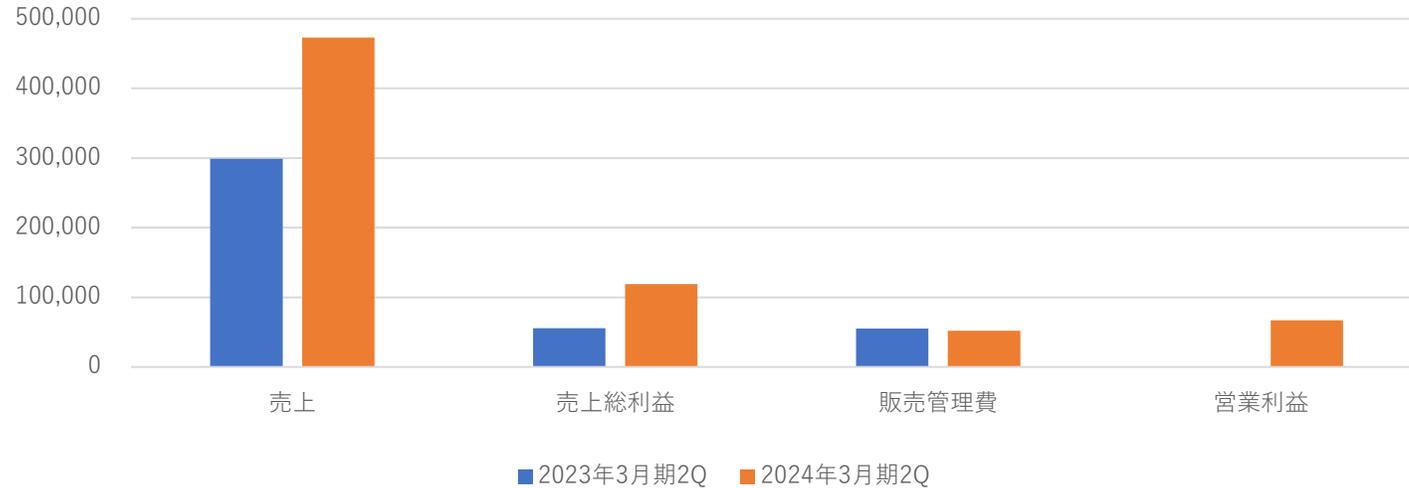
科目	今期2Q
売上	472,939
営業利益	66,776
経常利益	67,988

#### SDSおひさま1号

## 省電舎売上利益推移

大手企業の受注再開とコンサル受注による利益率の向上で営業利益は大幅増益

単位：千円



	2023年3月期2Q	2023年3月期通期	2024年3月期2Q	前年同期比	2024年3月期通期
売上	298,866	702,284	472,939	58.2%	750,000
売上総利益	55,476	121,896	118,916	114.4%	150,000
売上総利益率	18.6%	17.4%	25.1%	+6.5%	20.0%
販売管理費	55,099	121,342	52,139	-5.4%	86,762
営業利益	377	554	66,776	177倍	63,238

## 省電舎売上利益推移

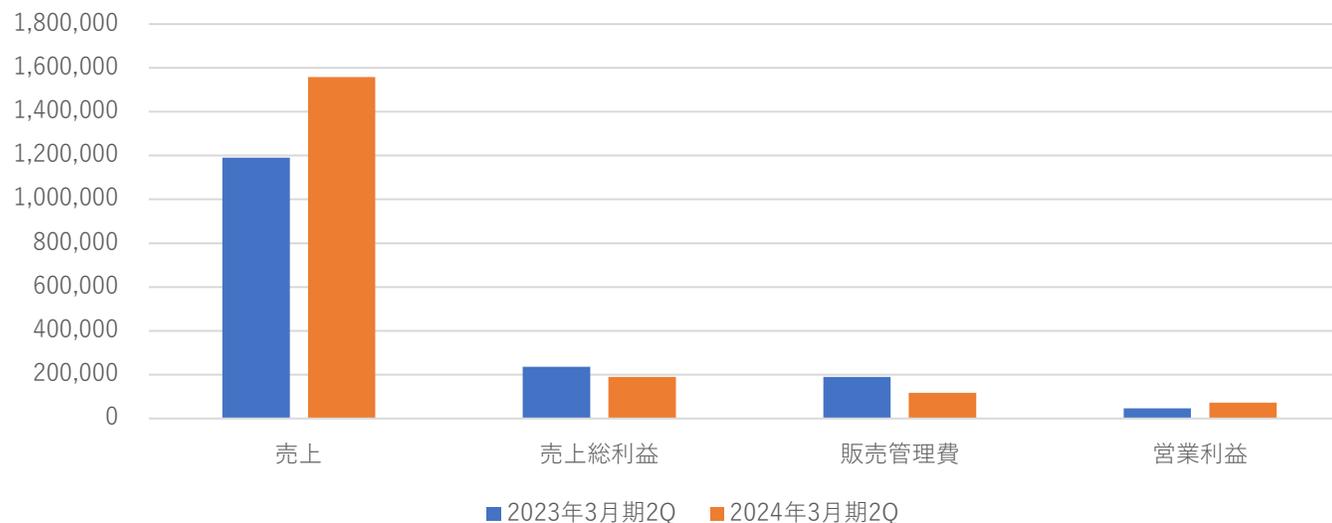
デベロップメント・サステナビリティは順調、HACCP関連事業が業績寄与を本格化

単位：千円

分野	売上 2022/3	売上 2023/3	売上 2024/3 2Q
デベロップメント <災害対策・施設強化>	443,079	418,930	135,395
サステナビリティ <省エネ・再生可能エネルギー>	577,762	263,399	233,278
セイフティ&ヘルス <HACCP関連>	14,117	19,955	104,357

# イエローキャピタルオーケストラ社売上利益推移

引き続き順調な業績を確保しつつ、借入削減へ



単位：千円

	2023年3月期2Q	2023年3月期通期	2024年3月期2Q	前年同期比	2024年3月期通期
売上	1,189,919	2,699,731	1,558,455	31.0%	2,700,000
売上総利益	235,749	510,564	189,408	-19.7%	540,000
売上総利益率	19.8%	18.9%	12.2%	-7.7%	20.0%
販売管理費	190,155	417,146	116,550	-38.7%	420,000
営業利益	45,595	93,418	72,859	59.8%	120,000
売上高営業利益率	3.8%	3.5%	4.7%	+0.9%	4.4%

## 2年間業績推移

単位：千円

	2022年3月	売上比	2023年3月期2Q	売上比	進捗率	2023年3月	売上比	2024年3月期2Q	売上比	進捗率	前期比	2024年3月期予想	売上比
売上	1,034,970		1,496,325	100%	44.0%	3,402,015	100.0%	2,031,484	100.0%	58.9%	35.8%	3,450,000	
売上総利益	173,328	16.7%	293,495	19.6%	46.4%	632,470	18.6%	308,414	15.2%	44.7%	5.1%	690,000	20.0%
販売管理費	434,023	41.9%	384,572	25.7%	48.8%	787,658	23.2%	268,980	13.2%	39.6%	-30.1%	680,000	19.7%
減価償却	326		18,847	1.3%		37,058	1.1%	15,609	0.8%		-17.2%		
暖簾償却	0		5,923	0.4%		11,847	0.3%	5,923	0.3%		0.0%		
他引当金	0			0.0%		75,000	2.2%		0.0%				
営業利益	-260,694		-91,076	-6.1%		-155,187	-4.6%	39,434	1.9%	394.3%	-143.3%	10,000	0.3%
受取利息・配当金	24		124	0.0%		73	0.0%	157	0.0%		26.6%		
支払利息	0		27,073	1.8%		58,384	1.7%	39,173	1.9%		44.7%		
経常利益	-298,344		-119,967	-8.0%		-210,858	-6.2%	1,788	0.1%	-3.0%	-101.5%	-60,000	
親会社当期利益	-333,788		-131,014	-8.8%		-296,355	-8.7%	-3,021	-0.1%	2.5%	-97.7%	-120,000	
純資産	596,609					620,783		624,942					
平均	317,897					608,696		622,863					
新株予約権	1,122					0		0					
非支配持分	0					99,523		106,911					
自己資本	595,487	自己資本比率				521,260	自己資本比率	518,031	自己資本比率				
平均	315,318	64.6%				558,374	11.7%	519,646	12.6%				
総資産	921,661					4,456,248		4,111,443					
平均	599,505					2,688,955		4,283,846					
有利子負債	0	DEレシオ				3,393,764	DEレシオ	3,068,240	DEレシオ				
平均	0	0				1,696,882	6.51	3,231,002	5.92				

## 今期の注力事業について

M&Aを含め、再生可能エネルギー事業、リノベーション事業、食品関連事業向けサービスなどへの資源集中を図る

高成長

- 再生可能エネルギー事業

- エネルギー価格の高騰・2050年カーボンNによる太陽光発電需要の急拡大と、太陽光発電設備の更新期における新たな事業領域が成長分野となる

PPA事業への参入  
中古パネル・発電所セカンダリー案件  
関連事業へ

成長

- 脱コロナによる食品業界の投資ブーム

- 脱コロナにより、食品業界の設備投資が急拡大。食品衛生法で義務づけられたHACCP適応の設計・建築の問合せが急増

地銀との連携により、HACCP関連サービス（衛生検査・HACCP認証支援・HACCP適応施設の設計・建築）を積極的に展開

安定成長

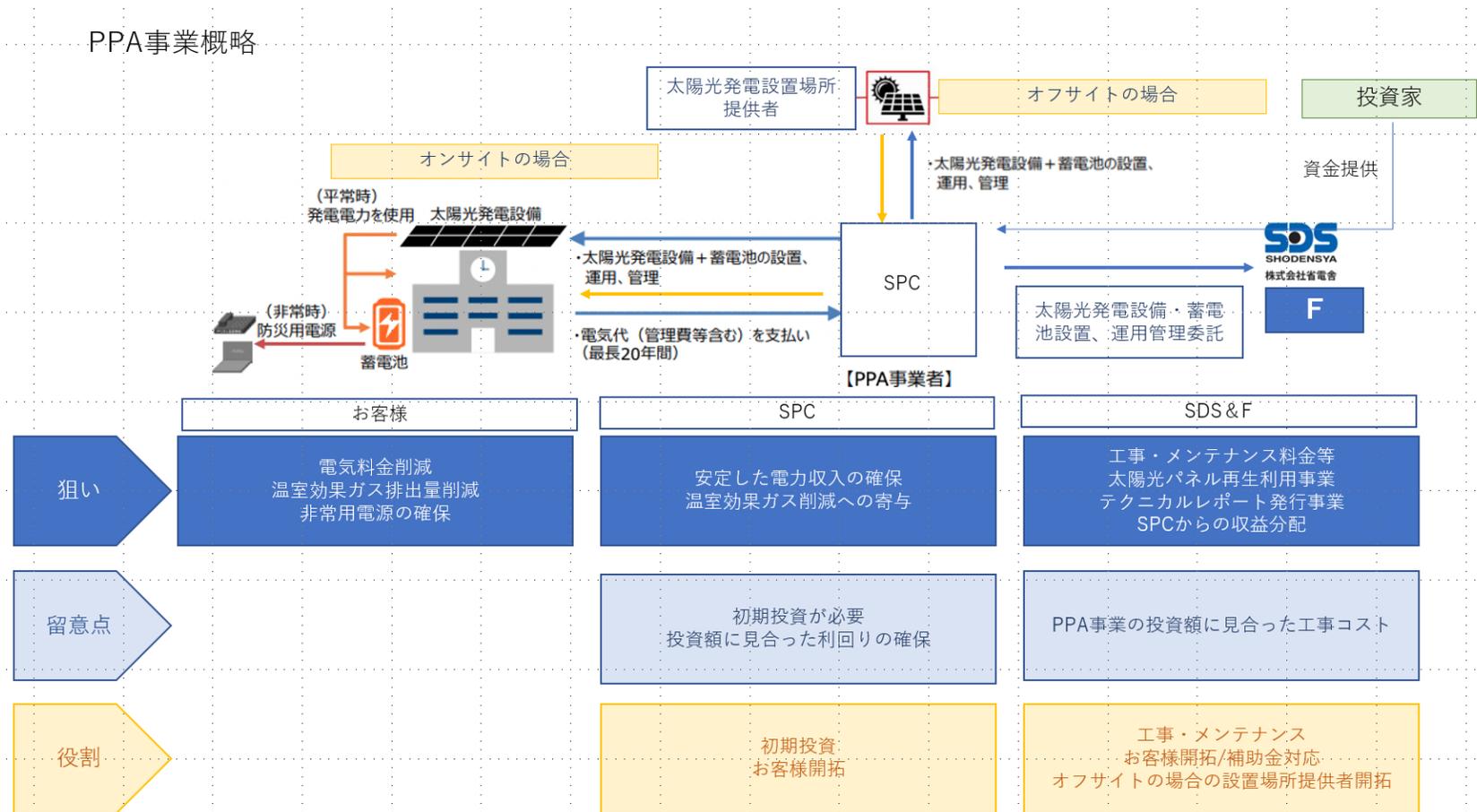
- 根付くりノベーション需要

- 我が国において、住宅の再生利用は安定的にシェアを拡大しつつある。住宅の取得コストの高騰やSDGsへの取組が、中古住宅市場を拡大させる。

イエローキャピタルオーケストラ社を  
軸としたリノベ事業を更に拡充

# 太陽光発電需要の高まりに伴う需要を獲得

## 電気代高騰 + CO2削減 + 太陽光パネル大量廃棄問題 + 太陽光発電設備の経年



業界で唯一、検査～HACCP認証～施設の設計・建築まで  
一貫で出来る強みを最大限に活かす

脱コロナによる需要拡大・補助金制度



工場などの増設・新設案件の増加



HACCP義務化による当局からの指導



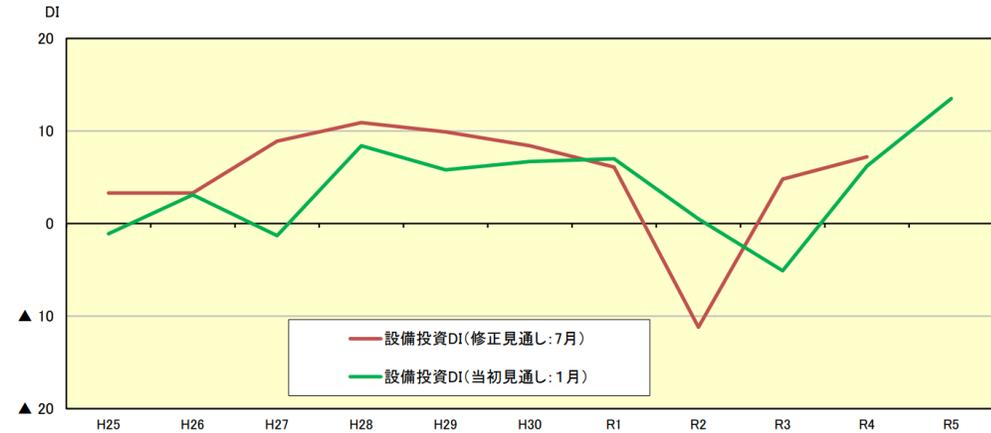
当社独自の  
「HACCPコンサルティング+設計・建築  
ノウハウ」への需要増加

<従来の建設会社にはHACCPのノウハウが無いケースが多い>

## I. 食品産業の景況について(設備投資DI)

※「増加」の割合から「減少」の割合を引いた値

・設備投資DI(令和5年1月時点の令和5年当初見通し)は13.5となり、平成9年の調査開始以来の最高値となった。



(注)年途中に行う上半期調査に比べ、年初に行う下半期調査の方が設備投資に対して弱含みとなりやすい。

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
設備投資DI (修正見通し:7月)	3.3	3.3	8.9	10.9	9.9	8.4	6.1	▲ 11.2	4.8	7.2	7.2
設備投資DI (当初見通し:1月)	▲ 1.1	3.1	▲ 1.3	8.4	5.8	6.7	7.0	0.5	▲ 5.1	6.2	13.5(+7.3)

( )は前回との差

令和5年食品産業動向調査

## リノベーション事業

イエローキャピタルオーケストラ社は、リノベーションによる住宅販売を事業としており、当社グループが従来からノウハウを持つ、LED、空調設備機器、非常用電源、自家消費型太陽光発電システム等を活用した省エネ、BCP対応のコンセプト住宅の企画、開発、販売を計画しています。

イエローキャピタルオーケストラ社が行う中古マンション等の不動産販売事業を、より付加価値が高いものとすると同時に当社グループとしては「脱炭素」をコンセプトとした、より収益規模の大きな事業の展開が可能になります。



# 総合省エネソリューション事業



## 太陽光

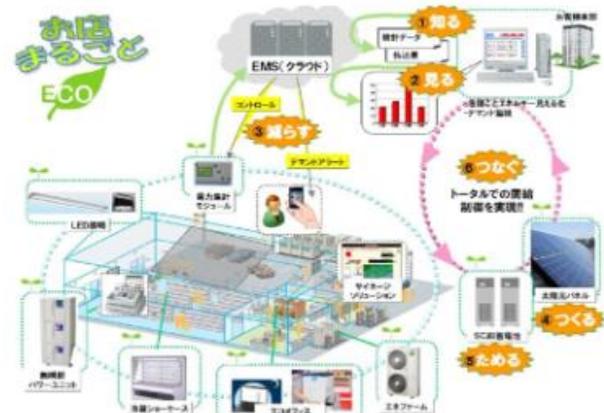
太陽光発電は再生可能エネルギーにおいて最もポピュラーな自然エネルギーの活用方法であり、弊社はその設置場所における最適な発電をご提案し、設計・調達・施工を行い、お客様のニーズに合った設備導入を行います



## 商業施設工

弊社では、商業施設をはじめ工場、物流倉庫 病院などあらゆる施設を対象にした建築の設計・監理及び施工、内装工事、施設機器(空調 照明 冷凍設備 etc) を取り扱っております。これらの設計及び機器の導入にあたっては、省エネ・省電力にこだわり資材・機器の適応性を十分に検討し、提案から導入まで万全の体制で行って参ります

## ◆スーパー・食品工場施設施工のご紹介



## エコストアご提案

弊社では、商業施設をはじめ工場、物流倉庫 病院などあらゆる施設を対象にした建築の設計・監理及び施工、内装工事、施設機器(空調 照明 冷凍設備 etc) を取り扱っております。これらの設計及び機器の導入にあたっては、省エネ・省電力にこだわり資材・機器の適応性を十分に検討し、提案から導入まで万全の体制で行って参ります



## 総合省エネルギー改修事業 トータル省エネルギープラン

- 代表的なエネルギー設備
- 蛍光灯・照明設備全般、LED化
- 熱源 (冷凍機、ボイラetc)
- 空調設備
- 動力設備 (ファン、ポンプ、コンプレッサetc)
- 生産設備
- 新エネルギー設備
- 環境対策

etc...

◆省エネルギー関連

千葉県 スーパーマーケット様

「平成26年度補正予算 地域工場・中小企業等の省エネルギー設備導入補助金」



【設備内容】 冷蔵設備、空調設備、照明設備  
【助成金内容】 総金額 79,000千円  
補助金額 37,665千円

病院省エネ型空調設備



◆商業施設関連



事例（スーパーマーケット）



ショッピングセンター  
請負：建築一式工事、ショーケース設備

事例 (物販 ミート&デリ)



ショッピングモール  
 請負：デザイン設計・内装工事  
 ショーケース工事・厨房機器工事

◆工場施設関連

事例 (セントラルキッチン)



セントラルキッチン  
 請負：建築一式工事 (HACCP対応)、厨房工事

長野県 湯田中温泉 ますや

事例 (工場)



製造工場  
 請負：設計・監理業務



405号室



406号室



本資料は当社に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。本資料は2023年11月21日現在の情報に基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証または約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります